

# ひかりのこ

1月園便り  
聖ミカエル幼稚園  
2017年1月19日

## 月主題：とりくんで

明けましておめでとうございます。昨年も保護者の皆様には、大変お世話になりました。

12月末に提出していただいた、学校評価は、提出率92%という、素晴らしい数字でした。皆様方の幼稚園に対する関心の高さが伺えます。また、コメントの中には、「様々な場面で、園の先生方が子どもたちを第一に考えてくださっているのが伝わってきます。」「毎日楽しく園生活を送っているようで“～ちゃんも、～君も～先生も大すき”など前向きな発言が増えました。これも先生方の愛情あふれる保育のおかげだと思います。」と書いてくださる方もいらっしゃり、私たちの励みになります。また、「ある時寝るときに私の体調のことをこっそりお祈りしてくれて、“早く治るといいね”と心配してくれて、感動しました。」というコメントには、子どもたちの心にしっかり神様が根付いていることがわかり、本当に嬉しい気持ちになりました。いろいろな改善策も書いてくださっていますので、今後の保育計画に生かしていこうと思います。ありがとうございました。今後とも、保護者の皆様と私たち幼稚園の保育者が両輪となり、子どもたちを育てていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、いよいよ3学期が始まりました。年長さんにとっては幼稚園生活最後の学期です。年長担当の祐子先生もカレンダーとにらめっこ。横割り・縦割りの担任の先生たちは、最後の幼稚園生活、子どもたちと思いっきりかかわりたい、という思いだけでなく、「小学校にあげるために、まだまだしてあげられることはないのか。」という思いでいるのでしょうか。そのわりに「あとちょっとしか一緒にいられない。」という焦りが出ているのかもしれない。

年中さんは、もう少しで憧れの年長さんへ。年少さんにももう少しで、幼稚園の弟、妹ができます。「大丈夫かなあ。」と3月ぎりぎりまで心配になりますが、意外に4月になるとちゃんと年長さん、年中さんの顔になるので、子どもたちはすごいものです。

今年は大雪で園庭には去年の3倍の大きさの雪山ができました。思いっきり遊んで、思いっきり先生たちから教えてもらって、幼稚園生活を楽しんでもらいたいものです。お父さん、お母さん

もたくさん幼稚園にいらっしゃってくださいね。おしゃべりしましょう。お待ちしております。

園長 渡部良子

## キリスト教保育

### 「三越会合」

大通りの三越デパートの上の階に、小綺麗なレストランがあります。昔は大食堂といわれ、家族連れで大賑わいでした。私は高校を卒業した年から、一人の友人と毎年大晦日にそこに集まり、1年を振り返って食事を共にするという奇妙な会合を、もう40年近く続けています。なぜ三越かということ、40年前、大晦日に営業しているレストランは、他になかったからです。

当然、話題は変わっていきます。最初は進学や就職、仕事のこと、結婚や子ども、そして生きる悩みや予想外の転機などなど。そしてついに、最近では自分の病気、親の介護の話題が始まりました。私はこの友が与えられたことを本当に感謝しています。やがて、どちらかが先に世を去り、一人でレストランを訪れる日が来ても、不思議と、互いに悲しまないだろうという気がします。十分に与えられたと思うからです。

教会に集まる若者たちの中には、ミカエル幼稚園から一緒だったという友がたくさんいます。どうやら、学校や職場の仲間、家族とも話せないことも話せる、素敵な関係があるらしいのです。着飾ったり、元気なふりをする必要がない、安心して自分を出せる貴重な関係です。このまま彼らは、いくつになっても、どこに住んでも、友のまま人生を過ごすことでしょうか。それがどれほど有り難く、恵まれたことか、やがて分かる時が来るはずですよ。そう思うと、幼稚園もまた単なる幼児教育機関ではない、出会いの場だと言えます。出会いは、一見ただの偶然のようです。しかし、友の存在が大切になればなるほど、偶然とは思えない、感謝せずにいられない「与えられた出会い」になるものです。子どもたちだけでなく、保護者の方々にとっても、幼稚園がたくさんの出会いの場となりますように。

チャプレン 下澤 昌